

日吉台地下壕保存の会

会 報

第32号

発行 日吉台地下壕保存の会
編集 事務局

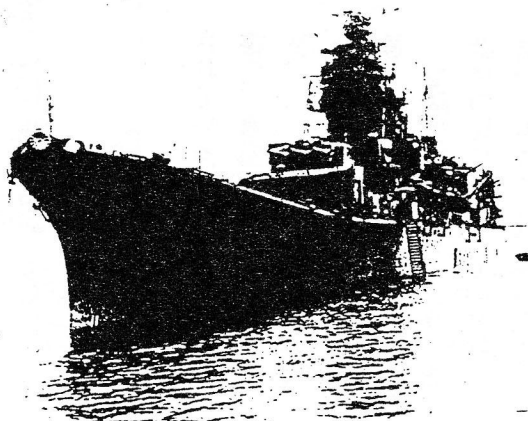
223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費)一口千円で、一口以上

郵便振入(口座番号)横浜 5-74921

(加入者名)日吉台地下壕保存の会



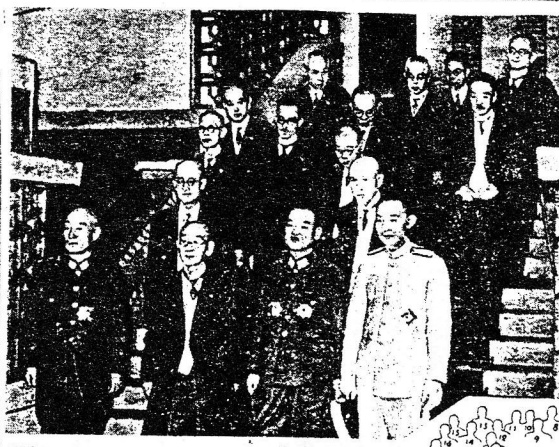
連合艦隊旗艦大淀

写真集日本の軍艦 ベストセラーズ刊より

連合艦隊が
日吉に移転
してきた
昭和19年
の写真です長官に就任
19年5月
内閣成立
19年7月

官長令司隊艦合聯山豊

す立成閣内力協 閣内米									
首相	小磯	大隈	海相	米内	大角	陸相	杉山	内務	大角
外務	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
文部	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
農商	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
軍務	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
運輸	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
国務	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
国務	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角
国務	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角	大角



朝日新聞に見る日本の歩み昭和17~19年より

目次	ページ
ロンドンの戦争博物館と地下壕	2~3
子供の頃	4~5
強制連行の実態を調査報告	5

連載日吉台地下壕	
当時の関係者の思い出話	7
幹事会報告	7~8
お知らせ	8

ロンドンの戦争博物館と地下壕

会 員 白 井 厚

英国に短期間出張したので、ロンドンで戦争博物館とロンドン大空襲時の内閣用地下壕跡を見てきた。日吉台地下壕の保存にも若干参考になるかもしれない。

帝国戦争博物館

(Imperial War Museum)

入場料£三・九〇)

地上三階、地下一階の堂々たる建物で、中央は吹き抜け。そこに飛行機、戦車、大砲、潜水艦、ミサイルなどが陳列



されている。一階には映写室、書店、食堂、画廊、特殊展示室、二、三階のバルコニー部分は第一次、二次大戦の戦争画その他の陳列場。

地階には第一次、二次大戦、戦後の紛争についての詳細な展示があり、特に「Belsen 1945」は、ナチスのユダヤ人強制収容所の恐るべき写真、映画、絵、資料、そして四五〇〇〇人を救出したという英軍の作戦を示している。

特筆すべきは、戦争を疑似体験させる装置で、次のようなものがある。

◆塹壕戦体験 (Trench Experience)

暗黒の塹壕の中に入ると、第一次大戦の塹壕戦を、突然

の爆発・銃砲の音・火薬の臭い・連絡用の電話のベル・命令伝達・負傷兵救出・治療などで、実際の戦場にいるような緊迫した雰囲気の中に感ずることができる。

◆大空襲体験

(Blitz Experience)

防空壕内に入ると、一九四〇年のロンドン電撃攻撃の状況を、爆発の光・音・臭い・至近弾の震動・火災・破壊された建物・非常食などで体験することができ。

◆ジェリコ救出作戦

(Operation Jericho)

フランスのレジスタンスの闘士たちが捕えられ処刑されるというので、英軍の爆撃機が収容所の壁を爆破して闘士たちを逃がす特殊作戦。四畳半ほどの部屋に入ると、前面が大スクリーンで、離陸・偵察・爆撃・帰投着陸などのス

リル満点の状況が映し出される。部屋は飛行する爆撃機内部に見立てられ、映像に合せて上下左右に激しく震動、女性たちは悲鳴をあげて手に汗を握る体験をする。

(有料、£一・三五)

内閣用地下壕

(Cabinet War Rooms)

ロンドン大空襲下で、チャーチル内閣はどこで国民を指導したか—ウエストミンスター寺院や英国議会に近い四階建ての政府用ビルの地下室がそれだ。もちろん空襲でねらわれる建物だが、堅固なつくりなので、たとえ一部破壊されても建物自体が防禦物となつて地下室を守ると考えられ、地下室を更に頑丈に補強、毒ガス攻撃にも火災にも耐えられるようにして、閣僚と軍の首脳は地下室で指揮した。地下室にある二一室は幸い



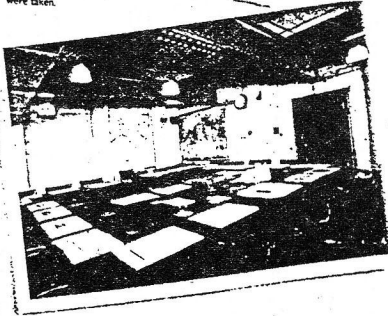
内閣用地下壕入口

にも破壊を免れ、日本軍の降服の日まで使われ、今は戦時中と同じように保存・公開されている。閣議室、チャーチルの寝室、地図室、ルーズベルト大統領と直通の電話室、タイピスト室、放送室、警備する実物大の兵士の人形、電話交換手室、休憩室などが、見るものを五〇年前に引き戻す。それぞれの室についてはヘッドフォンから解説が流れ、実物の持つ迫力が見るものを圧する。



The Central Map Room, where information about operations on all fronts was collected and displayed, using coloured wool, pens, paper flags and symbols.

Churchill and his War Cabinet held more than one hundred meetings in the cramped and poorly-ventilated Cabinet Room, where some of the most important decisions of the Second World War were taken.



室内の情報は、地下壕の主要な戦場、この地図が

ロンドンにはほかにも海軍博物館(帝国軍艦 Belfast —一九六五年まで使われていた最後の重巡洋艦で、テムズ川ロンドン塔の前に浮ぶ)、ケンブリッジには航空博物館(Duxford)など沢山の戦争

室内の閣議が、地下壕以上の閣議が、ここで行われ、重要な決定がなされた。

博物館がある。英国では軍人の社会的地位が高く、戦史の研究が盛んで、第二次大戦は戦勝の歴史、しかもナチズムの脅威から祖国を救い他民族も解放した歴史なので、すべては誇らしげに展示され愛国

心をかきたてるように出来ているのは問題だが、こうした博物館において大勢の男女高校生が教師と共に学習しているのを見ると、日本人は戦史に全く無知でよいのか、戦争放棄、戦争研究放棄でよいのか、甚だ疑問に感じた。

広島、長崎の原爆ドームなどを除くと、日吉台の地下壕は都会にあるほとんど唯一最大の(?)戦争の史跡であろう。小なりとはいえ今も残る宿舎の建物(連合艦隊司令部跡)を戦史博物館に活用し、そして地下壕を海軍使用時の状況に復元し、蠟人形やハイテク技術などを用いて当時の状況を直接目と耳で知りうるようにすれば、高校生の歴史研究、大学生の戦史研究に最適の教材になるのではないか。

(慶大経済学部教授)

子供の頃

幹事 林 ちづ

今年は敗戦五〇年の年である。五〇年といえば、人の一生の大部分は終わったといわれた長い時間であった。しかし今では五〇年+αが人間の一生となりつつあり、αの部分をいかに生きるかが課題となった。

昭和世代である私も、物心ついたら戦争で集団学童疎開の子供であり、東京大空襲で家を失っている。幸い家族に犠牲は出ずに何とか今まで生き延びている。近頃、老境に入った兄弟達が集まると昔の思い出話になるが、いつも戦争前後の話に集中する。兄二人は軍隊、姉は勤労動員、私は学童疎開という戦時体験をもっている。青春時代に戦争を経験した彼等と戦後教育を

受けた私とはかなり印象も異なるのだが、何とか話があっているのである。我家は品川区の下町にあり、二〇年三月二〇日の空襲の時には辛うじて火災を消しとめたが、毎日防空壕との往復の生活で、五月の第二次大空襲には、ついに全焼してしまったので、どこにいたものやら、手足まといの私は疎開地へ行かされていたので、その頃の記憶はぬけおちている。昨年、東京、丸善で学童疎開の展示があったが、絵日記などの記録がよく残されていたと感心した。私は昭和二〇年のはじめ頃に最後の学童疎開で東京近郊（日野市）へ行き、栄養失調症と八王子大空襲に会い、（何のために疎開したんだか）

多摩川の橋を夜中に泣きながら皆でハダシで逃げたことしか覚えていない。夜空が夕焼けの様に赤く、山の影がくつきりと黒かった。そして八月一日に、戦争が終ったといわれ、少しづつ周囲から友達が消えていったが、私と一〇人位の子はなかなか迎えがなかった。親の生死が判らない子がいたのだろう。私の場合は戦後の生活がガタガタして私をつれ帰るところではなかったらしいが、そんなこと



多摩川を望む日野市
東京の遺跡散歩 東京都刊より

は子供にはわからないから、かなり傷ついた。みすてられたと思っただけ。

兄達も身体をこわしたり、父も生活を整えることにせいっぱいだった。やっと帰った我家は家族と親類でこったがえしていた。皆家を失ったので家族と一緒にするのには運の良い方だった。

今、兄の一人は自分史を綴り始め、戦争中の所にさしかかっているが、入隊して広島市に配属されたが病弱のためすぐ病院に送り帰されてしまったので原爆にあわずにすんだが、同期の人達はほとんど、南方戦線や広島で亡くなられたらしい。

五〇年というが、私達の五〇年は戦争の影響をたつぷり受けている。第二次大戦、日中戦争、太平洋戦争、他の国であるが朝鮮戦争、ベトナム

戦争、カンボジア内戦等。自分の国やアジアの国々でほとんど戦争から逃れられない日々だった。そして今まで毎日新たな戦争がどこかで起っている。そう思うと「平和な日本」は全くもろい土壌の上に建っているのではないか、辛うじて憲法第九条だけに支えられ、平和を願う人達の努力の上にあるのではないかと思ってしまう。戦跡の傷あとはアジア、太平洋の島々に残り、日本の沖縄にもすさまじさをとどめている。忘れたいが忘れられず、忘れてはならない歴史のあかしとして。戦争は弱者、老人や子供達にとっては何となく怖いものだ。戦争の恐ろしさ、そして被害者と加害者の両面をもつ私達の戦争体験をアジアや、日本の若者達にどう伝えられるかが、私の課題だと思う。

寺田事務局長が協力してこられた調査が完了し、報告書が刊行されました。朝日新聞（九四・一一・八）の記事をお届けします。

地域からの国際交流の一環として県は、神奈川と朝鮮の関係を調査した報告書「神奈川と朝鮮」を発行した。文化交流の歴史や朝鮮半島の民俗などを紹介しているが、全体の八割は強制連行された朝鮮人が県内の建設現場や工場などで働かされた実態など、戦時下の報告だ。

2部構成文化交流史も

報告書は四百六十七ページで、第一部は「神奈川と朝鮮の文化交流史」、第二部は「戦時下の神奈川と朝鮮」となっている。

県は一九九〇年に韓国京畿道と友好提携した。これを機に地域で国際交流を進めようと翌年、調査を始めた。調査と執筆は、金原左門・中央大教授ら学識経験者の委員九人を中心に、協力員など約五十人による「神奈川と朝鮮の関係調査委員会」が行った。

同委員会は、県内の市町村が保存していた朝鮮人寄留簿や、特別高等警察の内

強制連行の実態を調査報告

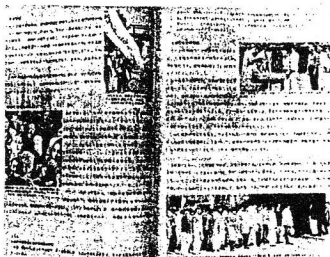
県 朝鮮との関係史を発行

部資料などを検証する一方、強制連行された朝鮮人や家族ら計約二百人から聞き取りをした。韓国でも二度にわたり調査をした。

報告書は、横浜市港北区日吉にある慶応義塾大学の校舎地下に連合艦隊司令部の壕（ごう）を掘る際、朝鮮人労働者が従事した様子を明らかにした。川崎市臨海部では企業ごとに連行の実態を報告した。

報告書によると、一九四〇年に始まった相模湖ダム建設では、四二年六月までに計四百人の朝鮮人が強制連行され、砂利採取やトロッコ押しをした。強制連行

資料検証と200人聞き取り 「過去の歴史とらえ直して」



された人は「一番危険な仕事をやらされた」と証言している。日本人作業員の妻は、宿舎から逃亡した朝鮮人を捜し出しせっかんして殺した事件があった、と語っている。

四一年に軍属として横須賀に連行された男性は、南洋の島に送られ、将校に棒

朝鮮での連行風景の写真も掲載した「神奈川と朝鮮」から

で殴られてジャンクルの中を逃げまどった。生計を支えてきた妻は「どこに訴えて、どこで補償を受けなければならないのか」と憤っている、という。

報告書に掲載した内務省の記録によれば、四〇年から四三年までに約七千五百五十七人の朝鮮人が県内に強制連行されたことされる。

同委員会の副委員長、山田昭次・立教大教授は「強制連行された本人だけでなく、家族らの苦痛も続いている。多くの県民に報告書を読んでもらい、過去の歴史をとらえ直してほしい」と話している。

五百部発行し、県立高校の図書室や公立図書館に配布した。問い合わせは県国際課（〇四五・二〇一一）へ。

連載

日吉の地下壕
当時の関係者の
思い出話 9

日吉の日々 1

日吉での軍隊生活とはどんなものだったのでしょうか。まず中島氏から伺います。

中島 親孝氏の話

(ききて…寺田貞治)

日吉に來た当初は、長官以下幕僚・士官・特準など約七〇名、下士官・兵など三五〇名の計四二〇名程度であった。下士官・兵について大淀にいたときと比べると、表の通りになる。終戦時には、司令部の人員は千名近くにふくれ上っていた。

作戦会議は寄宿舎の中寮の食堂を改造した作戦室で開いたが、空襲が激しくなっ

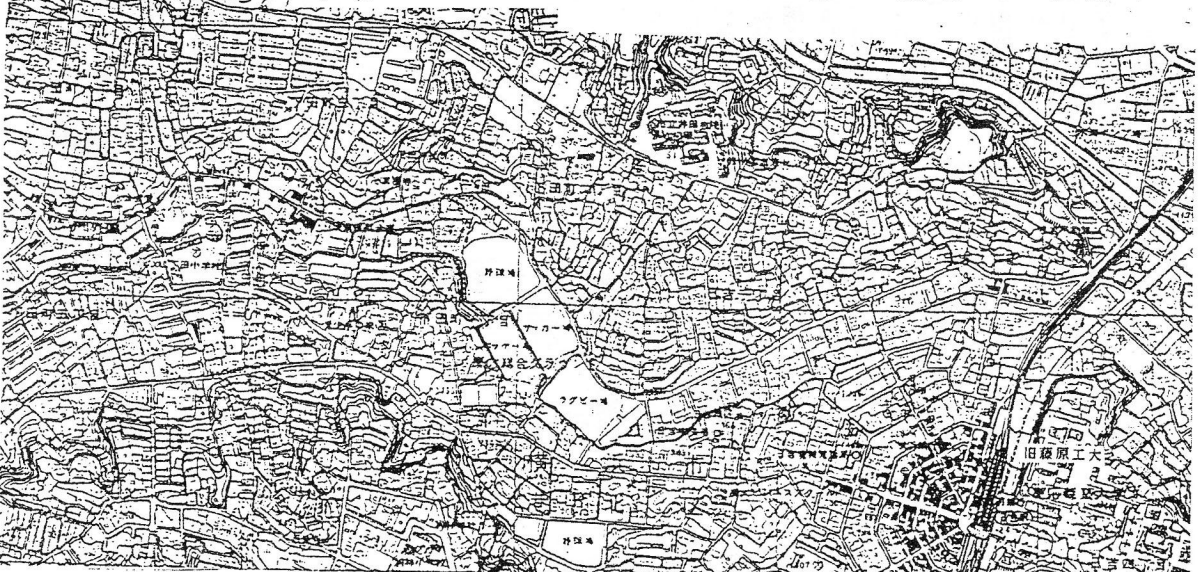
らは地下壕⑦の作戦室で開いた。連合艦隊の重要な作戦は軍令部と相談して天皇の裁可を仰いで行なった。

⑨には電信・暗号の各隊がいた。私は電信室に始めて蛍光灯を入れた。電信隊はこの壕に來る前は、藤原工大(現慶大第四校舎辺り)の北側斜面の民間人が掘った素堀りの壕に電信機を設置し業務を行なっていた。主に軍令部や海軍省との連絡が仕事で電話回線を利用していた。

各部隊への作戦司令は無線だと敵にキャッチされる恐れがあるため殆ど有線で、日吉から海軍省東京通信隊を通じ、船橋の送信所から送信された。



慶大チャペル 慶応義塾125より



大淀の電信員	20	30	30	20	大淀
司令部の電信員	30	30	30	60	日吉
電信特(外国の電波を傍受)	30	30	30	90	
大淀の暗号員	5	5	5	15	
司令部の暗号員	35	35	35	105	
庶務	20	20	20	60	
防空隊	0	0	0	0	
警戒隊(当初はいなかった)	0	0	0	0	
運転員(自動車の運転)	0	0	0	0	
烹炊員	0	0	0	0	
機関科員(日吉ではジールを動かす兵)	?	?	?	?	
医務科員	10	10	10	30	
従兵	20	20	20	60	

(7)

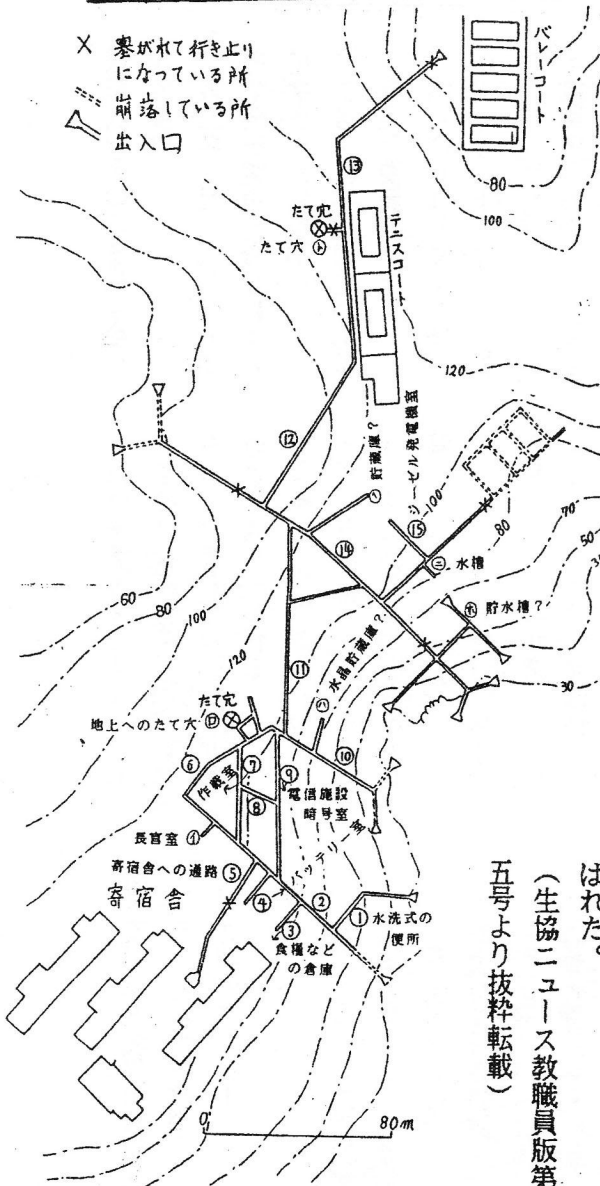
電信機は外がアルミで中は銅でできているため、湿気の影響は余り受けなかった。⑦の近くの縦穴からアンテナをだして、初期の頃、東京通信隊と交信したことがあった。蟹ヶ谷に海軍通信隊があったが、軍令部が少し使っていた程度で司令部では殆ど使わなかった。蟹ヶ谷は受信設備が大きかったので弱い電波が受信できた。

外国の電波は埼玉県の和田で受信し、東京通信隊を通して日吉の司令部に伝えられた。日吉でも慶大チャペルにラジオをおいて、英語のできる士官が海外放送を受信し、情報を得ていた。また日吉にきていた軍令部第三部(情報部)の実松氏の所に出入りし、情報を得ていた。

⑩の出入口附近に半地下式の兵舎を作り、兵士が寝泊りのしていた。空襲が激しくなり、爆撃を受けてからは、⑪⑫⑬で寝泊りするようになった。電信・暗号の兵士は⑥附近に寝泊りしていた。空襲の時、司令長官は⑤と⑥の間で、幕僚は⑦の作戦室附近で寝泊りした。壕の中の生活は湿気が多く快適ではなかった。

近くの小川で、沢ガニがよくとれ、客が来るとテンプラにして出した。ご馳走だと喜ばれた。

(生協ニュース教職員版第四五号より抜粋転載)



幹事会入部報告生口第八回
一月二五日一七時
慶応高校地学教室
報告

一、一月三〇日矢上小学校
PTAによる見学会一五名
余参加

二、二月五〜一六日「日吉
台地下壕写真展」を横浜銀
行日吉支店にて開催

三、同七日平和のための戦争
展実行委員会開催

四、同八日戸塚・和泉・栄地
区実行委員会による「戦争
と平和を考える文化の夕べ」
に写真パネルの貸出し、お
よび寺田事務局長の講演。
参加者多数

五、同一〇日連続講演会
「太平洋戦争と慶応義塾」
第一回「真珠湾から日吉の
丘へ」講師白井厚氏、四〇
名余参加

六、同一四日JR東労組大船

お知らせ

連続講演会および
1995年総会

日時：4月15日(土)
2時：地下壕のビデオ
2時半：連続講演会
4時：総会

場所：慶大日吉キャンパス
藤山記念大会議室

連続講演会
「太平洋戦争と慶応義塾」
第3回「戦時中の慶応義塾
と戦争体験」

講師：永戸多喜雄氏
(慶大名誉教授)

ご来場お待ちしております
~~~~~

## 議事

## ▼会報の執筆について

- 電車区分会による見学会一  
八名参加
- 七、九五年一月一七日J R東  
労組蒲田電車区分会による  
見学会一九名参加
- 八、二月一日平和のための戦  
争実行委員会予定
- 九、同一〇日J R東労組東神  
奈川分会による見学会予定
- 一〇、同一二日J R東労組山  
手電車区分会による見学会  
予定

\*戦争をテーマとするエッセ  
イを様々な年代の人に書いて  
もらう。それぞれの幹事が頼  
めば可能と思われる

▼会員を増やすことについて  
\*若い方に会員になってもら  
い、順次世代交代を考える必  
要がある。

\*見学会等で案内の出来る人  
を養成することが急務。

\*会員の力量が保存運動の力  
となるなど話合われた。

## 幹事会△△部生口第九回

二月一五日一八時半

日吉地区センター

## 報告

- 二、同二八日J R東労組書記  
による見学会二二名参加
- 三、二月一日平和のための戦  
争実行委員会開催
- 四、同四日連続講演会「太平  
洋戦争と慶応義塾」第二回  
「本土決戦と日吉台地下壕」  
講演と見学会講師寺田貞治  
講演会三九名、見学会二七  
名参加
- 五、同七日鯉島会長・東郷副  
会長・寺田事務局長が慶応  
義塾日吉キャンパス事務長  
と会談
- 六、同一〇日J R東労組神奈  
川分会による見学会一四名  
参加
- 七、J R東労組山手電車区分  
会による見学会一七名参加

## 議事

▼日吉キャンパス事務長との  
会談内容について

\*地下壕を一度見学して頂き、  
保存について定期的に話し合  
いを持ちたいなど

▼運営委員会について

\*三月二九日開催予定

▼陳情署名について

\*前向きに話し合いを重ねて  
いく

\*文案をねる

▼会報三二号について

\*三月末発送予定

▼「平和のための戦争展」会  
場に藤山記念館を借りること  
について

\*会議室のため展示会場には  
不可。

## お願い

会費未納の方に振込用紙を同  
封しました。ご送金をお願い  
いたします。行き違いの場合  
はご容赦ください。